

令和2年度事業報告書

令和2年1月1日から令和2年12月31日まで

(特定非営利活動法人TOS S鳥取)

1 事業の成果

・百人一首は何百年もの長い歴史をくぐり抜けてきた日本の誇るべき伝統文化である。これに工夫を加え、誰にでもわかりやすく、覚えやすくした五色百人一首。その大会を実施した。日頃取り組んでいる五色百人一首の成果を試したり、いろいろな学校のたくさんの友だちと楽しんだりすることができた。今年度はコロナ感染予防のため全員マスク着用で行った。毎年続け今年で第17回となった。百人一首への興味がさらに高まってきた。

・地域の子どもたちに向けての交流体験事業は今年度はコロナ感染予防のため、実施をとりやめた。とても残念だった。子どもたちも残念がっていた。

年度初めの1月は、コロナ禍ではなかったため、令和元年度の子ども観光大使講座の参加者が集まり「鳥取県子ども観光大使大会」を実施した。子どもたちが鳥取県のおよさを発表し、子ども観光大使として認定された。

・子どもと保護者のための「親守詩大会」を実施した。親が子を思って詠う詩が子守歌である。その逆に子が親を思って詠う詩が親守詩である。親守詩を全県から募集し、親守詩鳥取県大会を今年も開催することができた。家庭での親と子の絆を深めた心温まる体験が詩となり、改めて親子のふれあいを深める機会となった。

親子の絆を深める模擬授業も行い、子どもたちの心に響いた。多くの参加者が心に残る親守詩大会だったと感想に書いていた。子どもたちの健全育成にも効果ある活動であった。

・地域の保護者や教育関係者の指導者として指導技術の向上を図るための研修を実施した。最先端の教育情報や効果のある教育の方法を学び、教育に関する研究ができた。コロナ禍の中、ハイブリッド研修やZOOM研修を行った。教育に必要な技術を学ぶ体験活動を通して、指導法を身につけることができた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額 (千円)
子どものための伝統文化事業	五色百人一首大会の開催	2月23日	ハワイ・アロハホール	15人	鳥取県内の子ども 100人	0
子どもと保護者のための課題研究事業	鳥取県子ども観光大使大会	1月26日	倉吉交流プラザ	15人	鳥取県内の児童20名 保護者15名	30

	親守詩鳥取県大会	12月5日	倉吉市交流プラザ	18人	鳥取県内の児童生徒 30名 保護者30名	146
教育に関する研究・情報提供事業	子どもへの対応の仕方を学んだり、教育方法としてのアクティブラーニングについての学習をしたりする研究会	8/19	倉吉未来中心	15人	教育関係者 50名	5
		8/27	リフレプラザ 倉吉			6
		11/7	米子福祉健康 総合センター ふれあいの里			10
		12/30	白兔会館			409

(備考)

- 1 2の(1)については、事業毎に事業名、事業内容、実施日時、実施場所、従事者の人数、受益対象者の範囲及び人数並びに支出額をそれぞれ記載する。
- 2 2の(1)のうち、「受益対象者の範囲及び人数」の欄には、具体的な受益対象者及び人数を記載する。
- 3 2の(2)については、事業毎に事業名、事業内容、実施日時、実施場所、従事者の人数及び支出額をそれぞれ記載する。
- 4 2の(2)については、定款上「その他の事業」に関する事項を定めている場合は、当該事業年度に実施しなかった場合も「実施しなかった」旨を記載する。

令和2年度 財産目録
令和2年12月31日現在

特定非営利活動法人TOS S鳥取
(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手元現金	723		
ゆうちょ銀行預金			
流動資産合計		723	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産	0		
(2) 無形固定資産	0		
(3) 投資その他の資産	0		
固定資産合計		0	
資産合計			723
II 負債の部			
1. 流動負債	0		
2. 固定負債	0		
負債合計		0	
正味財産			723

令和2年度 貸借対照表
令和2年12月31日現在

(特定非営利活動法人TOS S鳥取)
(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	723		
未収金	0		
流動資産合計		723	
2 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			723
II 負債の部			
1 流動負債			
流動負債合計	0		
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産	-1,794		
当期正味財産増減額	2,517		
正味財産合計		723	
負債及び正味財産合計			723

様式（法第28条第1項「前事業年度の計算書類（活動計算書）」）

令和2年度 活動決算書

令和2年1月1日から令和2年12月31日まで

(特定非営利活動法人TOS S鳥取)
(単位：円)

科目	金額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	0	
賛助会員受取会費	0	
受取会費計		0
2. 受取寄附金	70,000	0
3. 受取助成金等		
・子どもゆめ基金	0	0
4. 事業収益		
・子どものための伝統文化事業	0	
・子どもと保護者のための課題研究事業	0	
・教育に関する研究及び情報提供事業	540,749	540,749
5. その他収益	0	
経常収益計		610,749
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 子どものための伝統文化事業	30,781	
(2) 子どもと保護者のための課題研究事業	146,240	
(3) 教育に関する研究及び情報提供事業	431,211	
事業費計		608,232
2. 管理費		
(1) 消耗品	0	
(2) 会議費	0	
(3) 通信運営費	0	
管理費計		0
経常費用計		608,232
当期正味財産増減額		2,517
前期繰越正味財産額		-1,794
次期繰越正味財産額		723

※令和2年度は、コロナ感染防止のため子ども観光大使講座を中止にしました。
そのため、こどもゆめ基金助成金はありませんでした。

(様式例)

前事業年度の年間役員名簿

(特定非営利活動法人の名称)

役名	氏名	住所又は居所	就任期間	報酬を受けた 期間
理事 (理事長)	森下 人志		R2年1月1日 ～ R2年12月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
理事 (副理事長)	松本 勝男		R2年1月1日 ～ R2年12月31日	
理事 (副理事長)	青戸 智子		R2年1月1日 ～ R2年12月31日	
監事	澤田 智志		R2年1月1日 ～ R2年12月31日	

(備考)

- 1 「役名」の欄には、理事、監事の別を記載する。
- 2 「住所又は居所」の欄には、鳥取県特定非営利活動促進法施行条例第3条第1項に掲げる書面によって証された住所又は居所を記載する。
- 3 「就任期間」の欄には、左に記載された役員全員について記載し、「報酬を受けた期間」の欄については、報酬を受けたことがある役員のみについて記載する。